

ブエノスアイレス街歩き

この街をもっと見てみよう！

林 正明

(6) センテナリオ公園界限

ブエノス市のほぼど真ん中に面積約十二ヘクタール、少しいびつな円形のセンテナリオ公園が有ります。



「リバダビア自然科学博物館」はセンテナリオ公園のシンボリックな存在

アルゼンチンは千八百十六年にスペインから独立しましたが、この起爆剤となったのは千八百十年五月二十五日ブエノス市に在住する所謂クリオージョと呼ばれる現地人（スペイン人の子孫達）が、実質的にナポレオンの支配下になったスペイン王国に属することを拒否する宣言を行い、その後六年間に亘るスペイン軍との戦争を経て独立を果たしました。サン・マルティン将軍やベルグラノー将軍、ブラウン提督等は独立戦争でクリオージョ軍を指揮し独立戦争を勝利に導いた功労者です。五月二十五日は「五月革命記念日」として、最も重要な国の記念日に制定されています。

千九百十年五月二十五日は「五月革命」の百周年に当たるので、これを記念してこの センテナリオ（百周年）公園が作られました。

公園の中央部には二ヶ所に噴水があり、沢山の大きな鯉が泳ぐ人工の池が作られ、池を取り巻く庭園や芝生で寛ぐ家族やカップルの姿が数多く見られます。人口池の近くに、主に市当局が主催する様々な催しが行われる野外劇場が有ります。



親子連れが水辺で遊ぶ休日の昼下がり。

この頃どの公園でも見られる光景ですが、休日には公園を取り巻く遊歩道に大規模な古書や雑貨などの市が立ち賑わっています。

恐竜の化石や国内で採取された隕石等が展示されている「リバダビア自然科学博物館」が、公園の一角を占めています。

この公園の一つの特徴は「海軍病院」「私立ドウラン総合病院」「市立キユリー夫人記念癌センター」「国立パスツール研究所」「フリーューベル病院」、少し離れて「私立サン・カミロ病院」等多数の医療施設が公園を取り巻く様に配置されている点でしょうか。

また、公園の外周沿いに分子生物学等を専門に研究するブエノス大学と CONICET（国家科学技術開発機構）が共同運営する「レルア財団研究所」では、学生や専門家を対象に主に分子生物学などの講義や研究を行っています。また、公園のすぐ近くにはブエノス大学社会学部が有り、学生達の活発な動きが見られます。



公園を外周する大通り建つ鐘楼が目立つ聖母ドローレス教会

公園の一角、「海軍病院」に向かい合って屋上に小さな天体観測ドームを持った「天文学友の会」が有り、直径十五センチから三十センチの各種天体望遠鏡や赤道儀等が備え付けられています。この「友の会」は千九百二十九年、天文学の啓蒙と大学生を対象に専門分野の講義を行う目的で設立されたものですが、天文学に興味がある人は誰でも入会出来、専門書を豊富に取り揃えた図書館を利用したり、備え付けの天体望遠鏡を覗くことも可能とのことです。

(はやしまさあき：元アルゼンチン三菱商事、ブエノス・アイレス在住)

注記：本稿では便宜上以下の西文和訳を採用しています。

Avenida	大通り
Calle	通り
Parque	公園
Plaza	広場